



# Yochu-JUMP

第2号



与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R5.11.7 発行

1人1授業の参観以外にも、週案の内容から授業の情報を得ています。特徴的な取り組みなどを行っている場合は、ぜひ週案にも記載してください。今週は3人の先生の素晴らしい実践を紹介します。

## 教師と生徒の信頼感が支える穏やかな学びの場

常に生徒に寄り添った指導をしていただいている大沼先生の授業は、**教師と生徒の信頼感**が垣間見える、穏やかな学習の雰囲気が特徴的です。参観した授業は「与那原町の埋め立てに賛成か反対か」について討論する内容の準備の時間でしたが「討論でいかに相手をやっつけるのか」ではなく「どのように説明することで相手に理解してもらえるか」を、大沼先生は**穏やかな口調で丁寧に説明**していました。

調べ学習の途中で、スライドを使ってポイントを補足説明していましたが、生徒がしっかり注目して、大沼先生の話に**耳を傾けて聴いている姿**も印象的でした。道徳科のスペシャリストでもある大沼先生の授業は、生徒が安心して学ぶことのできる素敵な時間でした。

## 国語科 大沼 正行 先生



## 生徒の学ぶ意欲を高める豊富な話題と軽快な対話

兼松先生の授業の魅力は、何といたってもその**豊富な話題**です。**膨大な知識**に基づいた学習の話題を、生徒が**理解しやすい言葉や表現で説明**してくれるので、生徒が興味津々で注目する姿が印象的です。参観した授業は「北海道の漁業」についての内容でしたが身近な食べ物の秘密や歴史、日本とロシアとの関係についてジョークや生徒との対話を交えながら楽しく展開しています。興味深そうに地図帳を広げる場面も見られ、授業だけで完結しない**深い学び**ができていないのでしょうか。

眠ったり、姿勢を崩す生徒もひとりもおらず、参観した私も含めて、生徒は**社会科を学ぶ楽しさ**を十分満喫できたのではないのでしょうか。

## 社会科 兼松 力 先生

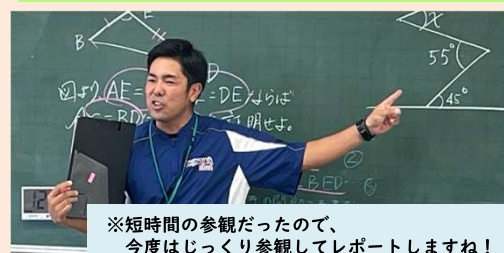


## 学ぶ楽しさ × 育成したい能力 を踏まえた工夫

大悟先生の授業で面白かったのは、生徒に発表させる際の工夫です。先生が「問題…」というキーワードを使ったときに生徒が挙手をするというゲームのようなルールを設定しているおかげで、**生徒が集中**して先生の言葉を聴く姿が見られました。

また、発表の内容である「角度を求める問題の回答」も答えだけでなく、**どのように考えたのか**をしっかりと**自分の言葉で表現させる**という取組も、**生徒の育成したい能力**を見据えた良い指導でした。

## 数学科 前城 大悟 先生



※短時間の参観だったので、  
今度はじっくり参観してレポートしますね！

## ふちと DTK 道徳の授業で使えるような話題 (歌・言葉・本など) を紹介します！



公は明を生ず  
偏は闇を生ず

荀子／中国の思想家・儒学者

「公平な考え方をする者は明りに照らされ、正しい判断や行動ができる。偏った考えをするものは暗闇にとらわれ、正しい判断ができない」という意味です。内容項目C「公正・公平」ではなかなか名言・格言を見つけにくいので、ぜひご活用ください。

授業の終末に名言・格言などを紹介することで、**余韻**を持たせながら、授業をしっかり**締める**ことができます。事前に教師の伝えなかったメッセージに近いものを見つけておくとも良いですね。